【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2015-46731(P2015-46731A)
【公開日】平成27年3月12日(2015.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2015-016
【出願番号】特願2013-176248(P2013-176248)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｅ
Ｈ０５Ｂ　3/00　３１０Ｃ
Ｈ０５Ｂ　3/00　３７０

【手続補正書】
【提出日】平成28年5月27日(2016.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像装置であって、
前記撮像装置を構成する複数の構成部品のうちの所定の構成部品を加熱する第１の発熱手段と、
前記撮像装置を全体的に加熱する第２の発熱手段と、
前記第１及び前記第２の発熱手段の動作を制御する制御手段と、
前記所定の構成部品に対応する温度を検出する検出手段とを有し、
前記制御手段は、
前記検出手段が所定値未満を出力した場合には、前記第１の発熱手段を有効とし、
前記検出手段が所定値以上を出力した場合には、前記第１の発熱手段を無効とし、前記第２の発熱手段を有効とし、前記撮像装置の所定の機能を起動する
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
撮像装置であって、
前記撮像装置を構成する複数の構成部品のうちの所定の構成部品を加熱する第１の発熱手段と、
前記撮像装置を全体的に加熱する第２の発熱手段と、
前記第１及び前記第２の発熱手段の動作を制御する制御手段と、
前記構成部品の信号出力を検出する検出手段とを有し、
前記制御手段は、
前記検出手段が信号出力を検出しない場合には、前記第１の発熱手段を有効とし、
前記検出手段が信号出力を検出した場合には、前記第１の発熱手段を無効とし、前記第２の発熱手段を有効とし、前記撮像装置の所定の機能を起動する
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項３】
請求項１、２において、

前記第１の発熱手段は複数の発熱手段で構成され、
前記制御手段は前記複数の発熱手段の数に応じた複数の発熱体制御部で構成される
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項４】
請求項１、２において、
前記第２の発熱手段は複数の発熱手段で構成され、
前記制御手段は前記複数の発熱手段の数に応じて複数の発熱体制御部で構成される
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項５】
請求項１～４の何れか１項において、
第１の発熱手段を前記構成部品に接触して配置される
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項６】
請求項１～４の何れか１項において、
第１の発熱手段を構成部品のヒートパッドに接触して配置される
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項７】
請求項１～４の何れか１項において、
第１の発熱手段を構成部品の実装面の裏側に実装する
ことを特徴とする撮像装置。
【請求項８】
請求項１～４の何れか１項において、
前記所定の構成部品は、
第１の発熱手段と温度検知手段のいずれか、ないし両方を内蔵する
ことを特徴とする撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記目的を達成するために、本発明は、
撮像装置であって、
前記撮像装置を構成する複数の構成部品のうちの所定の構成部品を加熱する第１の発熱手段と、
前記撮像装置を全体的に加熱する第２の発熱手段と、
前記第１及び前記第２の発熱手段の動作を制御する制御手段と、
前記所定の構成部品に対応する温度を検出する検出手段とを有し、
前記制御手段は、
前記検出手段が所定値未満を出力した場合には、前記第１の発熱手段を有効とし、
前記検出手段が所定値以上を出力した場合には、前記第１の発熱手段を無効とし、前記第２の発熱手段を有効とし、前記撮像装置の所定の機能を起動する
ことを特徴とする構成とした。